

記者発表資料 平成19年 6月14日 環境対策課 水環境班 担当 <sup>あいもの</sup> 四十物, 深澤 内線 2666
--

## 環境技術実証モデル事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野における 実証試験の実施について

平成19年度環境技術実証モデル事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野に係る実証機関として、環境省より宮城県が選定されました。

### 1. 環境技術実証モデル事業について

環境技術実証モデル事業は、既に適用可能な段階にありながら、客観的な評価が行われていないため普及が進んでいない先進的な環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証し、環境技術の普及促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものであり、今回は、第三者として宮城県が選定されたもの。

### 2. 実証技術について

対象技術として、生物生息環境の改善に資することを目的とし、アカモク藻場の再生技術（大型土木工事によるものを除く）を募集したところ、3件の申請があり、検討の結果3件全ての技術を実証することとしました。

これを受け、環境省より平成19年6月8日に承認されたところです。

### 3. 今後の予定

実証試験計画策定の基に、実証海域においてアカモク藻場の造成を行い、その後、月1回程度の頻度で、来年3月までにアカモク藻場の生育状況を観測し、各種の調査を行っていく予定です。

### 4. その他

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| (1) 実証試験実施機関 | 宮城県保健環境センター水環境部 |
| (2) 実証海域     | 松島湾内裡島沖（別紙参照）   |
| (3) 調査内容     | 生態調査・水質調査・底質調査  |

(別紙：実証海域)

